

## 令和2年8月度栗東市教育委員会臨時会会議録

開催日時 令和2年8月25日(火) 10:10～12:30  
開催場所 危機管理センター 3階 大研修室  
出席委員 教 育 長 福原 快俊  
教育長職務代理者 朽木 徳壽  
委 員 内記 一彦  
委 員 田中 和子  
委 員 太田 加代子  
事務局出席者 教育総務課長(福田)、学校教育課長(田中)、学校教育課長補佐(高野)、学校教育課指導主事(五藤)、書記(小林)

開会宣言 10:10

教育長

ただいまから令和2年8月度教育委員会臨時会を始めるにあたりまして、本日は傍聴の申し出が10名ございますので、栗東市教育委員会傍聴人規則第2条により、許可することに異議ございませんでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

異議なしと認めますので、傍聴を許可します。傍聴人を入室させてください。

傍聴人

(入室)

教育長

皆様、おはようございます。傍聴人の方々には大変長らくお待たせしてしまいまして、申し訳ございませんでした。

それでは傍聴人の方に申しあげます。注意事項を遵守していただきますようお願いいたします。なお、注意事項に違反したときは、退場を命じることがございますので、よろしくお願いたします。

ただ今より令和2年8月度 栗東市教育委員会臨時会を開会します。日程に従いまして進めさせていただきます。

日程2 議案第7号「令和3年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」事務局より説明をお願いします。

学校教育課長

議案第7号「令和3年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」をご説明申し上げます。

公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになっております。

資料をご覧ください。資料編2ページ～3ページには、本市が所属します教科用図書第二採択地区協議会の規程を載せております。この教科用図書第二採択地区協議会は、草津市、栗東市、守山市、野洲市、甲賀市、湖南市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会になっております。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。4ページが本年度の協議会委員の皆様です。

次に本日議決を求めることならびに第二採択地区での教科用図書選定までの経緯と結果について説明をさせていただきます。5ページが今年度の経緯となっております。

本年度は、中学校用教科用図書全教科の採択替えの年であります。さらに、小中学校「特別支援学級一般図書」の採択替えを行います。現在までに協議会を4回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催いたしました。併せて、5月21日から7月にかけて、各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。7月30日と8月4日、8月12日の協議会では、委員長より調査報告を受け選定し、第二採択地区としての議決を行いました。

第2採択地区協議会で議決された教科用図書につきまして、レジュメ1ページ～2ページが小学校の通常学級で使用するものの一覧と理由です。3ページ～5ページは、特別支援学級で使用する一覧です。特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができとなっております。知的障害学級用については、社会科において『ふるさと60年 戦後の日本とわたしたちの歩み』『名人はっけんまちたんけん！3くらしをささえるひと』『名人はっけんまちたんけん！4まもるひと』『名人はっけんまちたんけん！5そだてる・とるひと』『楽しく遊ぶ学ぶよのなかの図鑑』の5冊が新たに選定されました。

続きまして、6ページ～7ページが中学校の通常学級で使用するものの一覧と理由です。中学校 特別支援学級の一覧は、8ページ～10ページとなっております。

理科におきましては『ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび』『講談社の動く図鑑 MOVE はじめてのずかん みちかないきもの』『くらしに役立つ 理科』の3冊が新たに選定されました。保健体育科において『DVD&完全ビジュアル すべての子どもが必ずできる 体育の基本』の1冊が新たに選定されました。なお、弱視学級については、通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本の点字版の教科用図書を選定しております。

資料編6ページ～16ページまでは、小学校中学校の特別支援学級の使用図書の学年の目安を掲載しております。

続きまして、協議会において、各教科調査委員長より報告されました調査結果の概要について

担当よりご説明いたします。

教育長

昨年度は、全教科をまとめて説明を聞きまして、その後での質疑ということでもさせていただきましたが、今年度は、教科ごとの説明を聞いた後での質疑とさせていただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

事務局の方はそれでよろしいですか。

学校教育課長

結構です。

教育長

よろしくをお願いします。

事務局

それでは、協議会にて調査委員会から報告されました教科用図書の調査委員会報告について、ご説明申し上げます。

まず、国語の調査結果を報告させていただきます。お手元の資料17ページ～24ページをご確認ください。

調査観点は、18ページの様式1に記載しております。「内容の取扱い」についての6つの観点と、「資料・学習指導に関わる構成等」についての2つの観点、「第2採択地区独自観点」として、「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているかという1観点を設け、全部で9つの観点により調査研究がされております。

教科用図書は、「東京書籍」「三省堂」「教育出版」「光村図書」の4社から発行されたものです。

どの教科用図書もそれぞれに工夫されていましたが、各観点における評価は、19ページ～22ページの様式2で報告させていただいております。

評価の結果、「東京書籍」は9観点中Aが5個、「三省堂」は6個、「教育出版」は1個、「光村図書」は全観点の9個となり、「光村図書」が最も良い評価となりました。

光村図書それから東京書籍、三省堂の差について説明をさせていただきます。

観点④「書くこと」について、東京書籍、三省堂がB評価となっております。これは、国語の「書くこと」について、その分量が2社については、光村図書に比べて少ないと判断いたしました。

た。また、光村図書では、他領域との結びつきについても、設定されていることから良い評価となっております。

③の観点では、東京書籍がB評価となっており、「話すこと・聞くこと」領域において、内容は充実しているが、数の少なさ、「話し合い」活動の単元の少なさからB評価となっております。

⑤の観点では、「読むこと」の「構造と内容の把握」「精査・解釈」「考えの形成、共有」という学習過程が示されているかという内容ですが、東京書籍については、単元の振り返りの部分での明示がないので、生徒にとっては意識しにくいと思われます。

⑦の観点は、教材・資料の構成についてですが、光村図書では、学習上配慮した自社フォントを活用しており、また、難読漢字や新出漢字の読みと例示など、生徒にとってわかりやすい作りとなっております。

⑨の観点は、第2採択地区の独自観点ですが、三省堂は、「世界平和」については、どの学年でも触れられていますが、他の現代的な諸課題については、指導者の意識化が重要となり、光村図書は、現代的な諸課題について、全般的に配置されております。

トータルとしてバランスのよい仕上がりとなっていることから、今回の調査結果として、4社の中で、「光村図書」発行の教科用図書が最も適切であるという結果になりました。

以上が国語の調査結果となります。

#### 教育長

Bというのは、良いということで、Aは特に良いということですね。それでは、国語の調査結果について質疑を受けたいと思います。

#### 田中教育委員

一通りの教科書を見させていただきました。光村図書が読みやすく、わかりやすいとは感じました。ただ、古典・古文の分量が、他社と比べて多いように感じました。その点では、比較されていかがでしたでしょうか。

#### 事務局

光村図書では、古典、古文の内容ですが、1年生で、26ページ、2年生で、39ページ、3年生で38ページの分量となっております。これは、東京書籍よりは多くはなっておりますが、三省堂よりは少ない設定です。内容的にも、他社と比べまして特に、多い少ないということはございませんでした。

#### 教育長

よろしいでしょうか。その他はいかがでしょうか。

#### 朽木教育長職務代理者

先ほどの説明の中で、「光村図書の「書く」活動が思考・判断・表現だけでなく、知識や技能

の観点と関連付けてある」という部分につきまして、具体的な例などがありましたら、ご説明、お示し願いたいと。

事務局

「書く」活動につきましては、「思考・判断・表現」という観点を観る活動になります。しかし、「書く」活動は、「知識・技能」の側面からも見るように工夫されているということです。

具体的に申し上げますと、どの教科書でも冒頭部分には載せてあるのですが、1年生の国語の教科書をちょっと開けていただきますと、光村図書で言いますと6ページの部分になります。「学習の見通しをもとう」ということで、一年間でどんな学習をし、どんな力を身に着けるのか見通そうと書いてあります。この一覧に「思考力・判断力・表現力」という大きなふりがありまして、そこに単元ごとに「知識・技能」との関連が一覧の表となっております。生徒自身が見たときに、光村図書が一番わかりやすいのではと判断させていただいております。

教育長

よろしいでしょうか。

他にご質問等はございませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、国語の教科用図書については、光村図書を採用するということによろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

では、国語科につきましては、光村図書を採択するということにいたします。

続きまして、書写についての説明を事務局お願いします。

事務局

はい。続きまして書写の説明をさせていただきます。資料は、25ページから30ページとなります。

書写は、調査観点を6観点としております。その内容につきましては、26ページの様式1に記載しております。観点①～③は、学習指導要領の「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」、

「学びに向かう力・人間性等」の観点から、教材・学習活動について調査しております。

観点④、⑤は、「教材・資料や学習指導にかかわる構成等について、ユニバーサルデザインの観点や生徒にとって学習しやすく工夫・配慮がなされているかの観点から調査をしております。

観点⑥は、「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているかについて、以上6点につきまして調査をしております。

調査結果の27～28ページの様式2の評価にもありますように、A評価の数は東京書籍が5つ、三省堂は1つ、教育出版は6つ、光村図書は2つということとなっております。令和3年度使用教科用図書に教育出版を推薦したいと考えております。

各社の違いについて確認をさせていただきます。教育出版と東京書籍を比較させていただきます。両社の評価の違いは、①の観点であり、「知識及び技能」で、基礎的・基本的な知識・技能を身につけるための教材・学習活動についてとなります。

内容の違いですけれども、「どちらの教科書が、生徒にとって、理解しやすいか」「イメージしやすいか」という観点からみていくと、教育出版のほうが、半紙をイメージした形から、筆づかいやポイントが示してあり、全体のバランスもわかりやすくなっていると評価しております。

他の部分については、いずれも甲乙つけがたいものになっておりましたが、書写につきましては、教育出版を推薦したいと思っております。

教育長

それでは、書写の調査結果について質疑を受けたいと思います。ご質問ございませんでしょうか。

太田教育委員

教育出版の教科書ですが、色々な情報があって手本も多く、細かな説明やポイントも書かれていて見ているだけでも楽しめたのですが、しかし内容的に盛りだくさんあったのですが、すべて指導ができるのでしょうか。

事務局

教育出版の教科書は、古文のなぞり書きでは絵巻等の資料を豊富に掲載するとともに、内容がバラエティに富んでおりまして、大意も書かれております。伝統的な文字文化に触れる機会が十分にあると思っております。また、著名な歴史上の人物の残した文字の紹介、「日本建築と書」のページなど興味を引く視点が多いのも特徴となっております。そのような視点の多さが、内容をすべて消化できるのかというご心配につながるかと思われそうですが、教材全てを100%教え込むということではなく、めり張り、軽重を付けながら指導をしております。ここに書かれている内容を全て指導するとなると、今の学習の時間では足りなくなることも考えられますので、それぞれの指導者がめり張りをつけながら指導をしていくことを考えていく必要があると考えております。

教育長

私の感じですがけれども、東京書籍も教育出版も練習をするマスというのでしょうか、なぞり書きですとか大変多いと思うのですがけれども、こういうのは自分自身が一人で勉強できるようにという配慮なのかなとも思うんですが、そのあたりはどうですか。

事務局

行書の単元で比較をしてみますと、東京書籍では54ページになります。教育出版では、62ページが行書の文字の練習のページになっております。このページを見ていただきますと、東京書籍よりも、教育出版の方がなぞり書き、マスの数が多く設定されておりますが、教育出版の方は、なぞり書きでしっかりと形をとらせることができるように工夫されているというようなことで評価をしております。

教育長

他にご質問等はございませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、書写の教科用図書については、教育出版を採用するというところでよろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

では、書写につきましては、教育出版を採択するという事にいたします。

続きまして、社会についての説明を事務局お願いします。社会は、4分野にわたりますが、質疑につきましては、地理的分野と、かかわりの深い地図分野でまとめさせていただき、その後、歴史的分野、公民的分野と二つに分けて進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

事務局の方はよろしいですか。

## 事務局

はい。では続きまして、社会の地理的分野と続いて地図分野について説明をさせていただきます。資料は、31ページからと地図ですが63ページからになります。

それでは、まず地理の31ページからご覧ください。では、すべての分野について、調査観点を6つとしております。内容の取扱いについては、滋賀県の採択観点を参考に、新学習指導要領で生きる力を具体化する3本の柱と整理された①知識および技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等としております。また、「第二採択地区の子どもたちにとって学習しやすいか」ならびに「多様性の尊重」「人権尊重」など第二採択地区として大切にしたいと示された諸課題についての工夫等を併せて調査観点としております。

地理的分野についてですが、調査した教科書は4社であり、32ページの様式1に示した6つの観点内容で調査いたしました。4社ともそれぞれの観点において大きく逸脱したものはなく、優劣が付け難かったというのが全体の印象です。

地理分野では、資料33、34ページの様式2をご確認いただき、それぞれのA評価は、東京書籍が5個、教育出版が4個、帝国書院6個、日本文教出版が5個となっており、甲乙つけがたい状況ではありましたが、総合的に勘案して、地理的分野は帝国書院が適切であろうという調査結果となっております。

評価内容につきましては、③の観点につきまして、東京書籍、日本文教出版の評価がB評価となっております。その部分の違いについて確認をしていきます。③の観点は、「学びに向かう力・人間性」という観点で、観点の内容としまして、(1)地域の課題や社会生活に生かせるような課題が設定され、主体的に追究、解決しようとする態度につながる学習活動の設定 と(2)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察、構想したことを社会に生かそうとする態度を養うような工夫ということで、簡単に申しあげますと、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」をもとにして、「さて、それをどのようにあなたの周りの社会に生かしていきますか」という、内容がどれだけ含まれているかということになります。この視点で比較したときに、東京書籍は、「探求課題」として、日本文教出版については、コラムとして設定はされていますが、その数が少ないと思われます。それに対して、帝国書院は各節末尾に設定されており、活用の幅が広がられます。

続きまして、地図についてですが、調査した教科書は東京書籍と帝国書院の2社であり、少し飛びますが、63ページ～66ページになります。64ページの様式1に示した観点内容について調査をしております。

まず、東京書籍ですが、世界州別地図、日本地域別地図に地形の特色などが捉えやすいよう鳥瞰図を数多く配置し、資料図に関連するイラスト、写真をつけるなど、生徒が多面的・多角的に考察しやすいよう工夫されています。また、「テーマ資料」のページが各州、地域ごとに設けられ、課題解決的な学習を促す工夫もなされていますし、SDGsについても2ページにわたって説明されています。しかし、様々な資料図が、同一ページに配置されていますが、図の大きさ、示されている地域などが統一されていないため、思考・判断・表現させるのが難しい面があると考えます。

次に帝国書院ですが、サイズがA4版で見やすいということが大きな特徴で、一つ一つの地図や資料図も大きく、生徒が地理的事象を捉えやすくするよう配慮されています。また、資料図、イラスト、写真などをバランスよくふんだんに盛り込み、他地域と比較したり地域性で関連付けたりして、生徒が主体的に課題に取り組めるよう工夫されています。加えて、「環境」マークや「防災」マークによりそれらとの関連を明確にした上で多くの問題が掲載されています。このように両社とも様々な工夫を凝らした教科書でありましたが、調査委員会としては総合的に判断し、帝国書院がふさわしいということになりました。

#### 教育長

では、地理的分野と地図分野の調査結果について質疑を受けたいと思います。

#### 内記教育委員

先ほど説明がありました調査結果から、コラムの多い少ないが評価に大きく影響していたように感じました。教科書会社によってコラムのようなものが、それぞれあったように思いますが、全ての単元や章末などの内容について必要なかどうかをお聞きしたいと思います。

#### 事務局

コラムの多少については、先ほども、報告させていただいたように、発行者によって差はございますが、その多少だけが評価の差になったのではなく、生徒にとって、また発展的な課題としての取組やすさなど教科書を使うことで理解が進み、自ら考えられるかということから、評価をし、採択をしております。

コラムの数につきましては、少なければ、それをもとに学習を進めなければなりません、各章末にあれば、取捨選択しながら取り組むことができるということが利点としてあります。

#### 教育長

よろしいですか。他にございませんか。

#### 田中教育委員

第2採択地区の観点については、帝国書院の幅広い取り上げ方が生徒の関心をひくのではないかと感じたところですが、その点ではいかがだったのでしょうか。

#### 事務局

第2採択地区の独自観点につきましては、「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題についての工夫・配慮がされているかになります。各発行者ともに、コラム等色んな形の設定や、教科書全体を通して、「SDGs」の視点からまとめるなどの工夫がされておりました。委員がおっしゃるように、帝国書院では、環境、防災、共生というテーマで、25のコラムが設定してあります。「地域の在り方を考える」では、SDGsの関連内容が

7テーマあり、様々な角度から考えることができると思います。

教育長

よろしいでしょうか。他にご質問等はございませんか。

太田教育委員

地図では、帝国書院の地図は、見出しの文字の大きさや色使いがくっきりとしていて、見やすかったのですが、東京書籍の地図の方は、先ほどの報告の中に「図の大きさ、示されている地域などが統一されていないため、思考・判断・表現させるのが難しい面がある」とおっしゃっていましたが、その方が、生徒の興味関心や選択の幅が広げられるのではないかと思うのですかいかがでしょうか。

事務局

地図につきまして、両発行者ともに、良く工夫がされておりました。東京書籍の地図につきましては、先ほど、「統一されていない」という表現をしておりますが、これは、多面的・多角的な視点での資料の取り扱いという点では、優れていると捉えることができますが、資料図などについて思考するという観点では、少し、レベルが高いのではないかと判断しております。

教育長

よろしいでしょうか。他にご質問等はございませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、地理的分野・地図分野につきましての教科用図書は、両分野ともに帝国書院を採用するということによろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

では、地理的分野・地図分野につきましては、帝国書院を採択するということにいたします。続きまして、歴史的分野についての説明を事務局お願いします。

事務局

では続きまして、歴史的分野についてであります。調査した教科書は7社でございます。資

料は39ページ～51ページになります。観点につきましては、40ページの様式1をご参照ください。

まず、新学習指導要領に示された3つの観点（様式1の1内容の取扱い）について調査しております。政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置し、歴史の流れと各時代の特色が理解しやすいことや、思考・判断を重視し、それについて表現させる工夫がなされていること、毎時間の振り返り、章の振り返りが整理しやすく、取り組みやすいことなどから、東京書籍、日本文教出版の2社が総合的に優れていると判断をしております。

それぞれのA評価は、東京書籍が5個、日本文教出版が6個となっております。

2社のその他の特徴をあげますと、まず東京書籍は教科書としてのバランスがたいへんよく学習指導要領が求めている3つの観点の学習内容箇所が一番多いと言えます。また、まとめにウェビングマップやクラゲチャートなどの多種類の思考ツールによる思考の可視化を促すなど、示唆に富んでおります。しかし、写真の輪郭や説明の文字が小さく分かりにくいものも散見され、ユニバーサルデザインの視点からは若干マイナス評価ということになります。

日本文教出版につきましては、同様に教科書としてのバランスの良さに加え、掲載しているコラム数、写真数、思考・判断を求める課題数が最も多く、生徒にとって見やすく、考えやすいものでした。また、毎時間の学習課題は「どのように」だけでなく「なぜ」を問うものもあり、深い思考を促す工夫がされておりました。

これらのことから総合的に判断いたしまして、歴史的分野については日本文教出版が適当であるという風になっております。

#### 教育長

それでは、歴史的分野の調査結果について質疑を受けたいと思います。何かご質問ございますでしょうか。

#### 太田教育委員

日本文教出版の教科書は、図版や写真等が色鮮やかで綺麗だったので、生徒の関心を高めることができ、また、それぞれの単元の構成や、前後の時代へのつながりもわかりやすくできていると思ったのですが、いかがでしょうか。

#### 事務局

この2社の教科書につきましては、見やすさという観点からは、ユニバーサルデザインフォントを活用されてます。工夫もされておりました。紙面の配置につきましては、東京書籍では、不鮮明な部分があったり、空白部分があったりなど、マイナス要因となっております。日本文教出版については、その点では、優れていると評価しております。

#### 教育長

よろしいでしょうか。他に何かご質問ありましたらお願いします。

朽木教育長職務代理者

様式2の⑥の観点では、「いじめ」に関する記述がないことが調査結果で取り上げられていますが、第2採択地区の独自観点で、「人権尊重」については、2社で比べてみるとどのような特徴があったのでしょうか。

事務局

人権尊重につきましては、第2採択地区では部落問題学習についても力を入れて取り組んでいるところであります。その記述内容について、日本文教出版、東京書籍について確認させていただきました。日本文教出版につきましては、ほぼ、本市でも進めている内容と合致しております。東京書籍については、解放令の部分での記載がなかったこと、それから、現代に残る差別の問題についての記載がなかったことから、日本文教出版を採用することが良いと結論付けております。

教育長

よろしいでしょうか。他にご質問等ありましたらお願いします。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、歴史的分野についての教科用図書は、日本文教出版を採用するというところでよろしいでしょうか？

教育委員

異議なし

教育長

では、歴史的分野につきましては、日本文教出版を採択するという事にいたします。続きまして、公民的分野についての説明を事務局お願いします。

事務局

続きまして、公民的分野についてであります。調査した教科書は6社であります。資料につきましては52ページ～62ページになります。調査観点につきましては、53ページの様式1をご参照ください。

それぞれの観点でのA評価は、東京書籍が5個、教育出版が5個、帝国書院が5個、日本文教出版が6個、自由社が0個、育鵬社が2個となっております。

東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社が甲乙つけがたい状況でありますので、それぞれの主な特徴を申し上げます。東京書籍につきましては歴史的分野と同様に新学習指導要領が求めている3つの観点の学習内容箇所をバランスよくふんだんに盛り込んでおります。総合的には高評価の教科書です。しかし、「多様性の尊重」に関しては、資料の選定や配列などの配慮が不十分な箇所がありました。

教育出版は「Look」「クリップ」で興味・関心を持たせたり、「確認！」で毎時間の知識・理解の習得を促したりする工夫をはじめ、社会的事象を多面的・多角的に考察させる発問等が考えられています。ただ、資料の写真に小さいものがあるため、少し見にくいと感じる部分がありました。

帝国書院は、学習内容を振り返り定着させる工夫や現代社会で議論されているテーマについて賛否の意見が紹介されており、多面的・多角的な思考を促す工夫もされていますが、世界平和に関しては一面的な表現がなされているとの指摘もあります。

日本文教出版につきましては、「確認」「学習の整理と活用」で單元ごとの学習の振り返りや定着を図る配慮や、「明日に向かって」では職業や年金、災害に強いまちづくりなど身近で関心の強い課題が設定されており、生徒の社会参画への動機づけとなる内容が豊富です。加えて、フリーカード法やウェビングマップなど、課題について考える手助けとなる9種類のチャットや表を紹介するなどの特色が見られました。

では、観点ごとに確認をさせていただきます。

④の観点の教材資料の構成について、資料の配置は見やすくなるように工夫されてはいるものの、写真の数が多く、小さく掲載されているものもあり、その点での見にくさがあるために教育出版がBの評価となっております。

第2採択地区独自観点の⑥では、東京書籍、帝国書院がBの評価となっております。これは、現代的な諸課題として、様々な角度から物事を考えさせるために、資料としては、一面的に捉えてしまいがちな内容が両社ともに配置されていることがあり、それに比して、日本文教出版については、特にこの第2採択地区でも大切に扱っている、部落差別の問題について、生徒に分かりやすい配列になっていることが評価されておりました。

これらのことから調査委員会といたしましては、最終的に公民は日本文教出版が妥当であるとの調査結果となっております。

#### 教育長

では、公民的分野の調査結果について質疑を受けたいと思います。ご質問ありましたらお願いします。

#### 田中教育委員

要望書等に出されていた育鵬社や自由社のことにつきましては、内容的に偏っているなど感じるところです。65ページの様式2の評価を見ますと、育鵬社の評価にAが2つ付いております。これについては、どのように評価をしていただいたのか説明をお願いします。

事務局

育鵬社の資料56ページでは、①の観点では、育鵬社は学習内容に関連した情報が紹介されていて事象が理解しやすいことや「学習のまとめ」では重要語句の基礎的知識の定着を図る工夫や配慮がなされているということでは評価できます。また、⑥の観点では、「情報化」と防災を結び付けている点では、現代的な諸課題という点で評価しており、そのような評価になっております。

教育長

よろしいでしょうか。その他、ご質問がありましたらお願いします。

内記教育委員

公民的分野の目標につきましては、「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。」となっておりますが、この視点から見ると、多面的な見方をされている日本文教出版の教科書が良いと思いました。

事務局

先程も申し上げました通り、非常にどの教科書も良くできております。教科書の調査委員会を含め、学習指導要領の内容に基づいて調査を進めておまして、今、委員がおっしゃっていただきましたように、日本文教出版が良いという評価をさせていただいております。

教育長

よろしいでしょうか。他にご質問等はございませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、公民的分野についての教科用図書は、日本文教出版を採用するということによろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

## 教育長

では、公民的分野につきましては、日本文教出版を採択するということにいたします。  
続きまして、数学についての説明を事務局お願いします。

## 事務局

続きまして、数学であります。調査した教科書は7社です。資料は67ページ～79ページになります。調査観点につきましては、68ページの様式1をご参照ください。

内容の取り扱いに関しまして、新学習指導要領に記載されている数学科の目的に沿って5つの観点に分けております。①は、知識及び技能に関する項目です。②③は思考力・判断力・表現力等の項目で、思考力・判断力は②、表現力は③として2つの観点に分けております。④⑤は学びに向かう力・人間性等の項目で、数学的活動に関することを④、生活や学習に活用する態度を⑤と、ここでも2つの観点に分けております。そして、それぞれの観点にそった問題や課題について、適切であるか調査を行っております。

資料・学習指導に関わる構成等に関しましては、⑥の教材・資料の構成と、⑦の学習指導に関わる構成の2つの観点に分けております。⑥ではユニバーサルデザインの観点から写真や図、表、文字が適切か、⑦については学習習慣を身につけさせるための補充・発展的な課題等の内容の箇所が適切か調査を行いました。

最後に、第2採択地区観点として、⑧で現代的な諸課題に関わる工夫・配慮について、そのような内容が取り扱われている問題の箇所と内容、また、登場人物の男女、国籍等のバランス、考えの多様性を認められる構成になっているかなどを調査いたしました。

それぞれの観点でのA評価は、東京書籍が5個、大日本図書が7個、学校図書が4個、教育出版が2個、啓林館が8個、数研出版が4個、日本文教出版が5個となっております。

ここでは大日本図書と啓林館の2社で、比較検討をさせていただきます。その調査結果の概要を報告いたします。70ページ、73ページの様式2、76ページ、78ページの様式3をご覧ください。

まず、大日本図書について報告いたします。

ほとんどの観点について、大変良いと評価をしております。章の始まりでは、生活に関わる内容を丁寧に取り扱い、例題の解説も大変わかりやすく、基礎的・基本的の内容について、順を追って理解できる工夫がされています。はっきりしためあてから、「問題を見出そう」「解決の仕方を探ろう」など筋道を立てた学習が設定されています。また構成も、1時間の授業内容が、基本的に見ひらき2ページになっており、教師にとっても生徒にとっても取り組みやすくなっています。第8観点でも、登場人物が男女に偏りないのももちろんのこと、外国にルーツを持つ生徒なども登場し、多様性を認めていることも評価できました。課題と思われた点は、学習習慣や学習の定着を図るという点で、章末問題が習熟度別になっておらず、問題数が十分でないということが見られました。

次に啓林館について報告します。

すべての観点で大変良いと評価しております。特に、めあてが分かりやすく明示されており、

見通しをもって学習に向かいやすくなっています。構成も「例」から「問」の流れで統一されており、スモールステップで学習を進め、基礎基本の定着も図れるよう配慮されております。

また、「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」で表現する力を身に付ける課題の設定もされております。章末問題では、「基本」と「応用」の2構成になっており、生徒が習熟度に応じて取り組めるようになっています。また、家庭学習を支援するためのQRコードが付いており、大きな学習支援ツールになると考えます。裏表紙から始まる「学びを活かそう」では生徒が興味を抱くような発展的な教材などが取り上げられており、評価できます。

どの教科書についても新学習指導要領の趣旨に基づいて、様々な問題やコラムを設定するなど教科書の構成がいろいろと工夫されておりました。

今回の調査及び調査結果から7社を比較検討してみますと、すべての観点で大変良いという評価となりました「啓林館」を推薦することが望ましいと考えます。

以上です。

#### 教育長

では、数学の調査結果について質疑を受けたいと思います。何かご質問等ございますでしょうか。

#### 朽木教育長職務代理者

大日本図書と啓林館を比較すると、双方ともに、基礎的な事柄から順序よく理解できるように作られていると思われました。しかし、大日本図書の方は解説が丁寧で、より理解できるのではないかと感じたのですが、基礎的なことの理解ができることを大切にしていくなら、大日本図書の教科書ではないでしょうか。

#### 事務局

大日本図書につきましては、確かにいわゆる完成度が高くなっております。一般的に非常に言いながらも、やはり第7観点のところでありますように、章の問題がございました。これは第1章、最初の数式のところで比べさせていただきますと、2年生の教科書で、大日本図書の36ページ、37ページをご覧くださいませでしょうか。併せまして、啓林館では32ページ、33ページをご覧ください。大日本図書では、第1章の学びを振り返ろうという問題が半分、力を伸ばそうという問題が4分の1となっております。それに比べまして啓林館のほうは、32ページ、33ページで、いわゆる力を伸ばそうというところが2ページございます。実はその前の30ページ、31ページには啓林館の方には基本問題、問題を確かめようという形で非常に手厚く、このあたりの、基礎基本を着実に身につけるためには、解説が丁寧であることも大切ですが、それが身につけるため、発展的に考えられるような筋道を丁寧に積み上げていくことも大切にしていきたいということから啓林館の方を推薦しております。

教育長

よろしいでしょうか。ほかにごございましたらお願いします。

太田教育委員

ちょっと話がそれますが、数研出版は、「探求ノート」が別冊になっていますが、それだけで、問題に取り組めるように思ったのですが、啓林館では、巻末からの、探求や活用する問題というのがありましたが、使いにくくはないのかなと感じましたが、いかがでしょうか。

事務局

今、委員がおっしゃったように、啓林館のほうも、見方はいろいろあるんですけども、表紙の向きが変わる中で取組が深まる。また家庭学習にも応用できるように、QRコードがすぐ問題の横に付いてございまして、ちょっと困った時には、すぐそこで反応ができることが評価されております。

教育長

よろしいでしょうか。他にご質問等はございませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、数学についての教科用図書は、啓林館を採用するということでよろしいでしょうか？

教育委員

異議なし

教育長

では、数学につきましては、啓林館を採択するということにいたします。続きまして、理科についての説明を事務局お願いします。

事務局

続きまして、理科についてであります。調査した教科書は5社でございます。資料は80ページ～91ページになります。観点につきましては、81ページの様式1をごご覧いただけますでしょうか。

内容の取扱いにつきましては①～③、資料・学習指導にかかわる構成等が④～⑤、そして第二採択地区の観点として「多様性の尊重」、「人権尊重」等の現代的な諸課題の中で環境保全や防災に

関する配慮も含め観点⑥としております。

では5社それぞれ特徴的な点を中心に、82ページから86ページの様式2および87ページから91ページまでの様式3について説明をさせていただきます。

まず、東京書籍では、一つの節を「問題発見」から「活用」までの統一した流れで構成されており、探求の流れが理解しやすい内容となっています。また、各節には課題に対する結論を自分自身で表現する場面も設けられており、生徒の表現力が向上するよう工夫がなされています。

単元末の「学習の整理」では基礎の定着に合わせて、習熟が進むような内容になっております。

一方、観察、実験の手順説明が簡略化されていることで、逆に指導者からの補足説明が必要と感じられる部分や、自由研究やコラムなど課題探求の材料もあまり多くはありませんでした。

教科書のつくりや構成としては、サイズは幅が抑えられており、机の上で開いても場所をとらない工夫がなされています。大判化が進む現状から生徒の持ち運びの負担を考えると好ましい工夫ですが、このことで文字の間隔や配置に窮屈な印象も受けました。また、挿絵の人物の表情が乏しく、意欲的に探究しているという期待からは少し物足りない印象がございました。さらに防災や減災についての記述も全体的に少ないという結果でした。

次に大日本図書です。

各単元のはじめに既習内容が丁寧に記載されており、今まで学んだこととのつながりを意識して、見通しをもった学習がしやすい構成になっています。学習を深める活動も多く設定されていて、概念を形成しやすい工夫が見られます。それぞれの観察、実験には「私のレポート」として結果からわかることが丁寧に書かれている反面、計画の立案やふりかえりを促す働きかけとしては十分でない印象がありました。

また実験の説明も手順を簡略化してうまくまとめてある反面、文章での説明が多く、生徒への指導も、しっかりと読み込ませる必要があるという印象でした。さらに、実験結果やそこからわかることを丁寧に記載してあることは、逆にこれを見れば生徒はレポートが完成できるため、わかりやすい反面、思考を深める活動としては課題を感じる構成と思われます。学校で学ぶための教科書というよりもむしろ自学自習でのわかりやすい参考書という印象がありました。

教科書のつくりは最もコンパクトで、文字は小さくなりますが、使いやすいサイズ感になっていて、最近の大判化に対しては好感の持てるサイズだと思います。また、防災や環境問題へのコラムも多く、簡潔にまとめられていました。

次に学校図書です。

各章のはじめに、CanDoリストとしてできるようになりたい目標がはっきりと示されており、生徒が見通しをもって学習できるよう作られています。

また、観察、実験の操作や事故防止に関する内容にも色を変えて注意喚起を促し、正しく安全に活動ができるよう工夫されています。

しかし、観察、実験の内容も多く、すべてやりきるには時間的な制約が心配されるなど、求める水準が少し高めに設定されてありました。さらに、実験の取り組みに説明が先行してしまい、正解が先に示されることで、生徒の多様な考えは扱いにくいという印象でした。

基本問題は二次元コードでのクラウド上に移されていて、紙面として記載されている練習問題

はレベルも高く、単元末問題のほとんどが記述式になっています。写真は背景を外した加工を施したものが多く、すっきりとして見やすい印象でした。また全体のレイアウトも含め、紙面の配置には余裕があり、空いた部分にメモを書き込むことも可能です。SDGsについてはどの学年でも触れられ、力が入っていました。

次に教育出版です。

各単元に生活場面や既習内容から疑問を見つけて仮説をたてながら探求する過程が丁寧に示されています。観察、実験を進めるうえで「基礎技能」という項目を独立して設けてあり、操作を始める前に、器具の使い方や注意点を身に着けられるように工夫されていました。しかし説明がていねいなことは、実験の後すぐに結論が記載されていて、探求の過程を大切にするには逆に不足を感じました。

練習問題は基本問題が中心で、読み解く力を身に着けられるような文章問題はあまり多くはありませんでした。また、コラムによる実社会とのつながりについての発展的な話題提供も記述が少なく物足りない印象でした。

紙面構成では、文字が大きく見やすく、配置にも余裕が感じられますが、その分教科書は大型で重くなっています。災害や防災に関する内容は多く、関心が深まる工夫がなされていました。最後に啓林館です。

課題の把握から課題の解決の後、探求の振り返りまでの学習のサイクルが統一されており、探求的な学習が身につくように工夫がされています。観察実験における注意表記も、事故防止のための安全上の注意と、円滑に作業がすすめられるような操作上の注意とに分けてはっきりと示されています。

課題探求としての発展的な活動の提供についても「探求クラブ」や「探求シート」というコーナーが特設され、丁寧にアシストされています。

紙面構成では、ページの配置は見開きの2ページにおいて、中央は説明文で、両端に図表という統一した形になっていて、視覚的に理解を助ける工夫がなされています。

環境問題に関しても科学的に判断できるよう記載に工夫が見られます。また、実生活に関係する内容もコラムとして単元の説明の中に随所に配置されていて科学を学ぶ意義や有用性を実感させる工夫がされています。

以上、各教科用図書の特徴を順に説明させていただきました。どの教科用図書についてもよく工夫されており、それぞれの観点においてAまたはBという評価の中で、啓林館は6つの観点のすべてをAで満たすこととなりました。

従いまして、調査委員会では、最も適切である教科書は啓林館であるという結果になったことをお伝えいたします。

教育長

では、理科の調査結果について質疑を受けたいと思います。何かございましたらお願いします。

田中教育委員

実験の手順を見ますと、啓林館が、全てもれなく示されて、知識・技能の面では安全に行えるのではないかと思います。ただ「思考する」ということから考えますと、ヒントとなる事項が多く出ておりましたので少し丁寧すぎるのではないかと感じた次第ですが、いかがでしょうか。

事務局

理科の実験の手順につきましては、実験中に何度か見直すこともあり、安全にできるということを考えると、丁寧に示されていることが大切なことであると考えております。また、文字での説明よりも、図で示されている方が、視覚的な情報として処理できることから、短時間で確認することができますので、実験の手順に関しては、より詳しく、パッと見て注意すべきことなどが分かるものが生徒にとってはよいと考えております。

教育長

よろしいでしょうか。他に何かございましたらお願いします。

太田教育委員

小学校からの学習と今後、高校へのつながりという観点からでは、啓林館はうまくつなげられているのではないかと感じたのですがどうでしょうか。

事務局

小学校での既習事項の確認と発展的な課題の設定などにつきましては、委員のおっしゃる通り、うまく配置をされています。他社につきましても同じようにうまく接続はされておるのですが、巻末にあります「探Q」のページや自由研究テーマ例などは、各単元の発展課題としても充実したものになっておりますので、啓林館はうまくつなげられるのではないかと考えております。

教育長

よろしいでしょうか。その他にご質問等はございませんか？

教育委員

異議なし

教育長

それでは、理科についての教科用図書は、啓林館を採用するというのでよろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

## 教育長

では、理科につきましては、啓林館を採択するということにいたします。続きまして、音楽と器楽についての説明を事務局お願いします。

## 事務局

続きまして、中学校 音楽（一般）と（器楽合奏）について、報告させていただきます。

まず、音楽（一般）につきましては、資料92ページからをご覧ください。教育出版社と、教育芸術社の2社になります。

93ページの様式1 調査研究観点については、内容の取扱いについては、四つの観点として、①知識および技能について、②思考力・判断力、表現力について、③学びに向かう力・人間性等について、④生涯にわたって音楽と豊かに関わる資質・能力等について、資料・学習指導にかかわる構成等については、⑤教材・資料の構成等について、⑥学習指導に関わる構成等についてとしております。第二採択地区観点については、⑦の観点として、観点の内容に記載していることについて、調査をしております。

では、94、95ページの様式2の観点別評価について報告をさせていただきます。評価としましては、教育出版社は、Aが1つ、教育芸術社はAが6つとなっております。

観点①につきましては、両者ともBの評価としております。

観点②では、主に「音楽を形作っている要素」が知覚感受につながるように、配置されているかという点と、ワークシートの内容が表現の工夫や学習の深まりにつながる内容になっているか、という点について、教育芸術社の方が優れていると考え、教育芸術社をA評価としております。

観点③では、表紙の紙面や見開きのメッセージについて、教育芸術社の紙面はとても魅力的で、生徒が興味関心をもって学びに向かえるよう工夫されていました。また、巻末の合唱曲集についても、曲数や曲の親しみやすさ、および取り組みやすさの点で評価に差が出ておりました。

観点⑤では、主に目次や「音楽を形づくっている要素」の記載は工夫されているものの、誰にもわかりやすいかという点で、評価が教育出版社がB、教育芸術社がAとしております。

観点⑥では、学習の系統性や日本歌曲や日本の伝統芸能の鑑賞教材の配置が、発達段階にふさわしいものかどうかについて、評価に差が出ております。教育芸術社は、発達段階に応じた配置になっていると考え、教育芸術社をAと評価をしております。

観点⑦では、主に挿絵やイラストの内容で、大きく評価がわかれおります。教育出版社の2年・3年上の「ポピュラー音楽図鑑」では、多様な音楽がイラストにより紹介されていますが、実物との相違が大きく、演奏者の肌の色が、固定観念にとらわれたような表現になっており、「人権」の視点で課題がありました。また、生徒のイラストが、吹き出しとともに複数箇所に書かれていますが、吹き出しの言葉づかいやしぐさは、いわゆる女性的に、とか男性的になど、固定的に書き分けてありました。一方、教育芸術社では、イラストや演奏者は、常に多様な性が偏りなく配置されていました。また、「Amazing Grace」で、奴隷貿易に関わるエピソードが書かれているなど、意識的に「人権」や「平和」に関わるエピソードが配置されております。

以上、音楽（一般）については、教育芸術社の「中学生の音楽」が、採択するにふさわしい教

科書だと考えております。

続きまして、98ページから101ページの音楽（器楽合奏）について報告させていただきます。教科書につきましては、音楽一般と同じ、教育出版社と、教育芸術社です。

99ページの様式1 調査研究観点につきましては、音楽（一般）の教科書と同じ七つの観点で調査をしております。観点の内容については、器楽合奏にあわせて少し文言が変化している部分があります。

では、100ページの様式2の観点別評価について報告をさせていただきます。

観点①では、双方の教科書ともに、さまざまな楽器の基礎的な奏法が適切に配置されていますが、教育芸術社の教科書につきましては、特に打楽器の奏法に関する内容が充実しており、小学校からの系統性をもって学習するには、活用しやすいと考えております。また、箏（こと）の導入では、教育芸術社は「家庭式縦譜」が適切に配置され、技能の習得に有効な内容になっていました。そういう点で、教育出版社がB、教育芸術社がAの評価となりました。

観点②では、教育出版社の「何が同じで 何がちがう？」のコーナー、教育芸術社では、「深めよう！音楽」のコーナーは、双方ともに知覚感受が深まる内容になっていますが、表現の工夫や学習の深まりにつなげられる内容になっているかを考えたときに、教育芸術社をAと評価をしております。

観点③では、教育芸術社の表紙紙面は、生徒が興味関心をもつような内容になっております。また、アルトリコーダーやギターの導入では、教育芸術社は、親しみやすい曲や仲間と音を合わせて演奏できる曲が配置されていました。このようなことから、教育芸術社をAと評価しております。

観点⑤では、双方ともに、ICT活用のための工夫がされていましたが、ユニバーサルデザインの視点で、教育出版社の方にはわかりにくさがありました。教育芸術社では、目次とともに「学習内容」もわかりやすく示されておりました。

観点⑦では、教育出版社では、箏（こと）ではすべてが女性奏者、和太鼓では写真24枚中23枚が男性奏者など、男女の偏りが見られました。一方、教育芸術社では、どの楽器でも女性奏者と男性奏者の両方の写真が載っているように配慮されていました。また、日本や諸外国の音楽と関連させて、多様性を尊重するメッセージが適切に配置されていることから、教育芸術社をAとしております。

110ページの様式3では、今まで述べた特徴について、記載しております。

以上、音楽（器楽合奏）では、教育芸術社が、採択するにふさわしい教科書であると考えております。

教育長

では、音楽と器楽についての調査結果について質疑を受けたいと思います。ご質問等ございましたらお願いします。

## 内記教育委員

音楽一般の方で、この音楽の授業後、音楽を演奏する、あるいは歌を歌う、それから聴く、鑑賞するということと、それともう一つ、音楽を創造する、作曲するというような創り出していくという観点が教育出版のほうは割とはっきりと最初に明記をされているように思いますが、そのあたりのことについて調査委員会で何か議論があったのかどうかということをお教えいただきたいと思っております。

## 事務局

まず、表現、そして鑑賞、そして創作につきましては、双方の教科書ともそこははっきり打ち出しながら作られているというふうには受け止めております。

教育芸術社の教科書には、一番上のところに、歌唱、創作、表現と鑑賞と分かれており、そして歌唱、創作、鑑賞ということで、そこから下に線がつながっていきます。この曲ではこういう観点を大事にしているということが非常に分かりやすく示されております。一番左の縦のラインのところ、曲の構成を感じ取って歌おうという表現をするのに大切な視点というのがここに書き出されておまして、その下の旋律、強弱、形式、構成ということにつきまして、それが明確に見て分かるように示されております。

教育出版社につきましても、今、ご指摘いただいたように、それは示されているのですけれども、赤、緑、青に色分けをされて示されていますが、ページの順番がばらばらになっていたり、何が何ページに載っているかということの分かりにくいということがありました。そして、音楽の要素についても、円になって書かれているんですが、これも非常に見にくいかなと、ユニバーサルデザインの視点でどうかなという点で、教育芸術社のほうが分かりやすいということで判断をしております。

## 教育長

よろしいでしょうか。他に何かご質問等ございましたらお願いします。

## 朽木教育長職務代理者

調査委員会の結果にも出ていますけれども、教育出版の独自観点では、やや固定的な見方をされていると感じました。これからの時代を担うには、ややちょっと古臭いというかそういうような感じを受けました。また、これらの教科書を使って、この中の題材、曲目ですね、様々な歌と一緒に子どもたちと歌っていくというのは、私としては、教育芸術社のほうが子ども達に親しみやすい歌、あるいはちょっと新しい歌をたくさん取り入れられているのかなというふうに思ったのですが、その辺の議論はありましたでしょうか。

## 事務局

第2採択地区の独自観点で見ますと、報告にもありますように、教育出版の方は、性別の偏りがあり、配慮に欠けるという判断をしております。また、曲目等については、親しみやすい曲と

ということですが、曲数につきましても、選ばれている曲につきましても、教育芸術社の方が曲数も多く、子どもたちが好む曲がたくさん載っており、新しい曲も随時入っているかなということを思っております。

教育長

よろしいでしょうか。他にご質問等はございませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、音楽・器楽についての教科用図書は、教育芸術社を採用するということによろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

では、音楽・器楽につきましては、教育芸術社を採択するということにいたします。続きまして、美術についての説明を事務局お願いします。

事務局

では、資料102ページから107ページになります。

開隆堂出版、光村図書、日本文教出版の3社から選定をしております。

令和3年度使用教科書としては、日本文教出版を推薦していきたいと考えております。選定作業といたしましては、評価する観点を103ページ様式1に示す通り8つに設定しております。それぞれの観点項目に照らし合わせながら、それぞれの教科書を精査いたしました。

各教科書の特徴をまとめ、この教科書を使うであろう第2採択地区の子どもたちが学ぶ姿を想像しながら、授業者の目線で討議を重ねました。その調査結果については、104ページからの様式2ならびに106ページからの様式3をご覧ください。

各教科書については、設定した観点や観点内容については、どの教科書も漏れることなくしっかりと押さえられており、差を見つけるのが容易ではありませんでした。また、各社ともレイアウトや、子どもたちが学びを進めるうえで、様々な工夫がされており、特にQRコードをどの教科書も掲載しており、それを使用した学習の在り方も、検討し評価いたしました。

それぞれの観点項目につきまして、3社三様の特徴があり、また一長一短があるものの、概ねどの教科書も大きく差がなく、最終的な判断に至ったところのみ説明させていただきます。

④鑑賞に関わる項目を見ますと、開隆堂では、時代や社会の中での美術の役割や、価値に迫る鑑賞題材が解説と共に載せられており、鑑賞活動を深めることができますが、写真や図版が全体的に小さく、一つ一つの作品に迫力が感じられませんでした。

光村図書は全体的に図版が大きく、作品の特徴を捉えるために原寸大で載せているところもあり、作者の筆跡などがわかりやすく大変迫力が感じられます。ただ、3社とも掲載されていた池田学さんの作品では、細かな描写が特徴である作者の作品に対して、光村図書に掲載されている作品では、写真が小さく、載せている意味があまり感じられませんでした。

日本文教出版では、巻頭に用いる図版が大変魅力的で、生徒の関心を高める工夫がされています。特によく授業で取り扱うピカソの「ゲルニカ」は、3社の中で一番迫力があり、解説も適しています。また、ダ・ビンチの「最後の晩餐」の修復作業を通して、どこまで修復すべきか問題提起しているところなど、新たな工夫が見られました。

⑥の項目である教材・資料の構成ですが、開隆堂ではほとんどの文字でUDフォントが使用されており、ユニバーサルデザインの配慮が感じられます。しかし、全体的に文字の大きさが小さく、読みにくさが残ります。QRコードからダウンロードした内容についても、掲載している作品を展示している美術館のホームページにアクセスするだけで終わっているものもあります。

光村図書のQRコードは大変充実しており、教師がいなくても一人で学習が進められるほどです。特に音声ガイドは秀逸ですが、あまりにも充実しすぎており、違ったものの見方や自由な発想が出にくくなるのが危惧されます。

日本文教出版は文字にUDフォントが多用されており、解説の文字も大きく、画面構成も大変見やすくできています。特にガウディ建築の詳細な写真が素晴らしく、作者の言葉や作品についての多くの情報が、マークを使って分かりやすく整理されています。やはり写真の美しさは、日本文教出版が突出しておりました。

⑦の観点、生徒の学習が効果的に進められる配慮として、日本文教出版は学習のねらいが明確であることをあげたいと思います。日本文教出版の場合、子どもにもわかりやすく明確に表現されています。開隆堂も同様に学習の目標が設定されていますが、造形的な要素や鑑賞における表現が乏しく感じました。子どもたちが題材名に関心を持ち、鑑賞の授業へスムーズに進行できる工夫が感じられました。

以上が差のついた項目でした。今回、日本文教出版の教科書を最終的に選びましたが、最初に述べた通り、どの教科書も大変充実しており、後は、最終的に採択された教科書の素材をどのように授業者が進めていくかということを期待しております。

教育長

では、美術の調査結果について質疑を受けたいと思います。何かございましたらお願いします。

朽木教育長職務代理者

美術という教科では、創意工夫、創造するということが大切だと思いますが、その観点からみた各教科書の特徴はどのような違いがありましたか。

事務局

創意工夫や、創造をするには、まず、その基礎となる技法や素材の特徴を知ることが必要であります。その点に関しては、②の観点になりますが、3社ともに丁寧に説明がされております。しかしながら、その後の展開として、どのように生徒の発想を広げていくのかということについては、開隆堂では、発想段階から手順が分かりやすい構成で示し、光村図書では、マッピングやアイデアスケッチなどで、発想を広げ、日本文教出版は、発想や構想の手立て、アイデアスケッチなどで、制作過程全体を示しております。この点に関しては、各社ともによくできておりましたが、鑑賞作品の掲載状況なども含めて考えますと、日本文教出版が発想としてもつながりやすく、広げやすいのではないかと考えております。

教育長

よろしいでしょうか。他にご質問等はございませんか？

教育委員

異議なし

教育長

それでは、美術についての教科用図書は、日本文教出版を採用するというところでよろしいでしょうか？

教育委員

異議なし

教育長

では、美術につきましては、日本文教出版を採択するということにいたします。  
ここで休憩を挟みたいと思います。

(休憩)

教育長

それでは、再開いたします。  
続きまして、技術と家庭についての説明を事務局お願いします。

事務局

技術・家庭科の調査結果の技術分野から報告をさせていただきます。資料のページは108ページからになります。比較した教科書は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。教科書の評

価、特色については、110ページからの様式2、113ページからの様式3にまとめております。

各教科書の特徴を各項目で評価の差がついたところを中心に説明をさせていただきます。

まず、②の観点では、開隆堂では、関心意欲を高める工夫はされておりますが、思考を深め、まとめるための工夫が不十分であると感じられたことから、Bとしております。

③の観点では、教育図書の内容では、気づくことまではできておりますが、最適化のための考え方については明示されておられません。東京書籍では、見開きで、技術の見方・考え方と技術の最適化についてガイダンスが掲載されています。このように学習内容に関わることについて掲載されており、技術科としての教科の目標が明確にされている構成は指導が行いやすいという意見がございました。

④の観点では、教育図書の教科書は濃い色やコントラストを強調することで、注視できるように配慮をしたところではありますが、逆に目立ちすぎて、注意力をそがれるのではないかとこのことでBとしております。

技術分野では、総合的なバランスがよく、学習指導要領の趣旨と教科の目標に即した東京書籍が、最も適切な教科用図書と意見がまとまりました。

次に家庭分野の調査報告をさせていただきます。資料は、115ページから121ページになります

家庭分野につきましても差がつかましたところについて説明をさせていただきます。

東京書籍につきましては、写真の大きさおよび説明が充実しています。他の学習内容についても大変わかりやすいものになっております。実習の指導および自学が行いやすいという意見もございました。また、東京書籍の方は小学校での既習内容が掲載されており、系統性が明確に示されています。学びの振り返りから次の学習目標へ活動を進めることができる関連性について工夫がされておりました。

このようなことを中心に考えますと、家庭分野の目標と内容に照らし合わせた教科書の使いやすさという点では、開隆堂は、実習をさせたいところの説明や例が少なく、教育図書は、食の内容は充実しているが、衣の内容は少ないなどバランスが悪くなっておりました。東京書籍は、学習内容を取り上げるバランスがよく、実習の説明や学習のまとめなどが使いやすく工夫されておりました。

家庭分野では、東京書籍が、最も適切な教科用図書であると意見がまとまっております。

以上、技術分野、家庭分野ともに、「東京書籍」を採択すべきであるという結論になっております。

## 教育長

では、技術・家庭の調査結果について質疑を受けたいと思います。何かご質問等ありましたらお願いします。

田中教育委員

どの教科書も、作業手順などは分かりやすく示されておりますけれど、生徒にとってわかりやすさという点ではどこで差が出たのでしょうか。

事務局

3社ともに、作業手順等については、わかりやすくまとめられておりました。実習例を例に挙げますと、東京書籍では、問題解決型から発展事例へと進められ、教育図書や開隆堂は身近な事例から入り、細分化されています。ですので、作業手順等については優劣つけがたく、その他の発展事例へのつながり等から東京書籍が優れていると考えております。

教育長

よろしいでしょうか。他に何かございましたらお願いします。

太田教育委員

家庭科については、東京書籍の方が生活に役立つ実践的な説明がわかりやすかったのでもいいかなと思いました。

事務局

評価の違いといたしましては色々ございましたけれども、生活につながるという風なことにつきましては、東京書籍でそのまま進めさせていただけたらと感じております。

教育長

他にご質問等はございませんか？

教育委員

異議なし

教育長

それでは、技術・家庭についての教科用図書は、東京書籍を採用するということでよろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

では、技術・家庭につきましては、東京書籍を採択するということにいたします。続きまして、保健体育についての説明を事務局お願いします。

事務局

続きまして、中学校保健体育についてですが、資料は122ページから127ページになります。

調査の観点は、6観点でございまして、それぞれの評価の結果は、東京書籍はAが4個、大日本図書が0個、大修館書店が2個、学研教育みらいが5個となっております。ここでは、東京書籍と学研教育みらいの観点について説明をさせていただきます。

まず、東京書籍であります。現代の健康問題について取り上げ、自分の事として捉え、考える発問が多く技能習得につながる工夫がなされております。また、章末問題を活用すると、より詳しい内容を学習できるようになっており、その内容もわかりやすくなっております。全体的にどの項目についてもわかりやすい内容となっております。

続いて、学研教育みらいですが、こちらの方の特徴といたしましては、身近でわかりやすい事例を取り扱っており、学びを深めることができる。また、実習を用いた学習が工夫されており、学び方に広がりをもたすことができる。

さらに生徒同士で話し合う、表現する活動が多く取り入れられて、他者に伝える力を養うことができます。また、健康課題に対して、様々な解決方法を思考し、そこから適切な方法を判断できるような資料が用いられています。

資料やデータをもとに協働的に取り組む課題が設定されており、課題解決を通して学んだことを日常生活に主体的に生かすことができるよう工夫がされています。

どちらの教科書につきましても、非常に内容として充実したものではございますが、学習の広がり等につきまして、考慮いたしますと、学研教育みらいを保健体育としては採用するべきであろうという結果となっております。

教育長

では、保健体育の調査結果について質疑を受けたいと思います。何かございましたらお願いします。

田中教育委員

体育の実技分野だけでなく、保健・健康分野がどの教科書も充実しているなと感じました。身近な健康問題から考えるという視点では、東京書籍もわかりやすかったと感じたのですが、学研教育みらいとの違いというのはどこにあったのか教えてください。

事務局

特に、第2観点「運動や健康についての自他の課題を発見し、解決に向けて思考・判断し、他者に伝える力を養うことができるような工夫・配慮がなされているか。」について、生徒同士で話し合う、表現する活動が多く取り入れられ、ほかの者に伝える力を養うことができる学習活動が学研教育みらいについては充実しております。また、新しい健康課題に対して、様々な解決方

法を思考し、そこから適切な方法を判断できるような資料が用いられているという点で学研教育みらいを推薦しております。

教育長

よろしいでしょうか。他にご質問等はございませんか？

教育委員

異議なし

教育長

それでは、保健体育の教科用図書は、学研教育みらいを採用するということでよろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

では、保健体育につきましては、学研教育みらいを採択するということにいたします。続きまして、外国語についての説明を事務局お願いします。

事務局

外国語についてですが、調査観点について資料は128ページからになります。

調査の観点は全部で6点になっております。この6点につきまして各社の評価については、東京書籍はAが6個、開隆堂出版が4個、三省堂が4個、教育出版が2個、光村図書が5個、啓林館が4個となっております。ここでは、東京書籍と光村図書の特長について主に説明をさせていただきます。

まず、東京書籍についてですけれども4技能をバランスよく取り扱っていることが最も特徴的なことであろうと思われまます。

光村図書につきましては、主な特徴として、まず、各Unitの学習内容をふりかえって、関係するイラストをもとに自分でストーリーを説明する「Story Retelling」という活動が、帯教材として巻末に設定されております。話す力を高める有効な活動であります。学期末に設定されている「You Can Do It!」とともに、自由度の高い自己表現活動となっております。

こうした特長がありますが、⑤の観点に関連して、全体的に情報が精査されシンプルな構成になっております。言語活動を発展させるためには活用できる語彙等の掲載はやや少なめとなっております。このような結果から、外国語の教科書としては、東京書籍の採択が望ましいと考えております。

教育長

では、外国語の調査結果について質疑を受けたいと思います。

太田教育委員

光村図書と東京書籍の教科書では、光村図書の方が、難しいように感じたのですが、その点では、何か話し合いはされましたか。

事務局

東京書籍は、従来からの教科書のつくりをもとに、文法事項から入っております。光村図書は、スピーキングなどを重視したつくりになっており、生徒からすると理解しやすさでは、東京書籍であろうという風に判断しております。

教育長

よろしいでしょうか。他に何かございますか。

内記教育委員

小学校でも英語の授業が始まっておりますが、そのつながりという点では、いかがでしょう。

事務局

この点につきましては、どの教科書も小学校での外国語教育を意識されておまして、接続が上手くできるように工夫されておりました。この点に関しては、各社とも差異はあまりございませんでした。

教育長

よろしいでしょうか。他にご質問等はございませんか。東京書籍はちょっと大変たくさんの材料が入っているので、色んな使い方ができるような風に工夫をされているように思いました。その点ほかの教科書はわりとシンプルな作りになっていると。実際にこれを使って授業をされる先生方がこういうたくさんの材料がある方が使いやすいと思われているんだなと時間をかけてここまで来たのかなと感じがしますので、東京書籍を採用についてはなるほどなと思っているところです。そのほか、ご質問はございませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、外国語についての教科用図書は、東京書籍を採用するということでよろしいでしょうか？

教育委員

異議なし

教育長

では、外国語につきましては、東京書籍を採択するということにいたします。続きまして、特別の教科道徳についての説明を事務局お願いします。

事務局

中学校道徳科の調査結果を報告させていただきます。資料につきましては139ページから148ページになります。140ページの様式1ですが、「内容の取扱い」が5観点、「資料・学習指導にかかわる構成等」が2観点で、調査をしております。

141ページからの様式2では、各観点につきまして、評価をさせていただいております。日本文教出版のAが5個、東京書籍が3個、教育出版、光村図書、学研教育みらいのAが2個、廣済堂あかつきが1個、日本教科書については0個となっております。

特徴ですけれども「日本文教出版」ですが、現代的な課題を題材とした教材が網羅されております。特に、いじめ問題に関しては間接的なもの、直接的なもの、スキルを身に付けるもの等、多彩な教材が学年ごとに用意されています。教材の配置についても、1年生を導入期、発展期、充実期と段階を踏まえて計画されており、担任をはじめとした指導者が学級集団の成熟とともに、生徒に考えを深めさせることができる工夫がなされています。教材ごとに、登場人物のアイコンが掲載されていて、話の内容を理解し易い配慮もなされており、1時間を「気づく」「考え、議論し深める」「見つめる、生かす」という3ステップで学習しやすい工夫がされています。

また、「プラットフォーム」では他教科とつなげ現代的な課題について考えるコラムが充実しております。

また、この教科書は別冊「道徳ノート」が用意されています。ノートには、友だちの考えを書き込む欄があり、多様な見方、考え方が意識できるように、評価への活用も可能であります。

次に、「東京書籍」ですが、こちらは、情報モラル、生命尊重、人権・平和・環境問題などさまざまな教材が設定されております。いじめ問題については3つの教材でユニット化し多面的・多角的に捉えられるよう工夫されています。また、いわゆる読み物教材とは別に、「Action」の設定により、生徒が読み物の登場人物になって役割演技をしたり、グループで話し合ったりすることを通して、実感をもって道徳的価値の理解を深め、考えることができるような工夫もあります。巻末の心情円などの授業支援ツールも充実しています。あわせて、中表紙に「話し合いの手引き」が付いており、問題の発見から話し合いまでの道筋、学習の流れが明示されておりました。

この2社について、協議を進めさせていただき、大きな違いとしましては、今回の教科化のねらいであります「考え、議論する道徳」が実現できる教科書かどうかという点です。東京書籍では、先程も出ておりました「Action」の設定により、役割演技、グループでの話し合いで、言語活動を充実させようとしております。しかしながら1時間では時間が足りないということも考

えられるという意見が出ておりました。一方、日本文教出版の方は、教材の内容と「学習の進め方」で併せて授業を進められるという意見であり、日本文教出版には地域教材が本編に唯一あるということも理由でありました。あわせて学期に一回とはいえ保護者記入欄があるのも日本文教出版だけでありました。

「道徳ノート」についても現在使用しているものと比べると、発問が記入されていないので、授業者が発問を自由に設定できるようにもなっております。

このようなことから7社の中で、「日本文教出版」の教科用図書が最も適切であるという結果になっております。

教育長

では、特別の教科道徳の調査結果について質疑を受けたいと思います。何かございますでしょうか。

田中教育委員

別冊ノートの活用において、日本文教出版が特に選ばれたというその視点での理由を教えてくださいたいと思います。

事務局

いろんな話合いの中で友達の見解を記録したりとか、自分の思いを綴ったりとかそういうような活動が中心になると思うんですけども、そういうことでは、友達の見解を書くという欄が日本文教出版の道徳ノートにもありますし、書くだけではなく、そういう細かい欄がある方が使いやすいであろうということ。それともう一点、この道徳ノートにつきましては保護者が家に帰ってから持ち帰ってコメントを書く欄というものもございますので自分の成長、保護者の思いというものも書かれてコミュニケーションが取れるというようなことも今後成長していく中で重要なポイントになるのではないかという意見もありました。

教育長

よろしいでしょうか。その他、ご質問等はありませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、特別の教科道徳についての教科用図書は、日本文教出版を採用するというところでよろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

では、特別の教科道徳につきましては、日本文教出版を採択するということにいたします。続きまして、小学校特別支援学級の説明をお願いします。

事務局

それでは、資料149ページからの令和3年度使用、小学校、特別支援学級の説明をさせていただきます。150ページの様式4-1でございますが、今回は各種目廃判となる図書はございませんでした。そういうことで、種目の中で一般図書が少なかった社会科につきまして、選定作業をさせていただいております。

151ページの様式4-2の弱視学級の「調査した教科用図書の範囲」についてですけれども、児童の障害の程度、発達の段階、能力に応じた教科用図書が使用できるように検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書を選定対象としております。

また知的障害を伴わない特別支援学級児童の教科用図書については、通常学級用に採択された当該学年の教科用図書の使用を基本としておりますが、障害の種別、特性、能力に応じた教科用図書が使用できるものとしております。また、弱視学級以外の学級に在籍はしているけれど、弱視を重複する児童の教科用図書については、教育内容、教育方法の中心が弱視教育となることから、弱視学級用の教科用図書に準じるものとしております。

次に152ページからの様式5-1をご覧ください。社会科の調査研究観点を示しております。155ページからの様式5-2の弱視学級の調査研究観点は、知的学級の観点と同じで、五つ目の観点到、「資料の適切な拡大等」を加えたものになります。

次に158ページからの様式6-1をご覧ください。学習として使える近代の歴史を著した図書が少ないということから、滋賀県教育委員会の「選定に必要な資料」に掲載されている本や、これまでの指導上で参考になった有意義な図書を持ち寄り検討を進めております。実際に手に取って選定作業を進め、その結果、以下の5冊に決定しております。

1冊目が、福音館書店、「ふるさと60年 戦後の日本とわたしたちの歩み」、2冊目が、学研「名人はっけん まちたんけん！3くらしをささえるひと」、同じまちたんけん！シリーズで、今度はまもるひと、続いて名人シリーズ、そだてる・とるひと、最後の5冊目は、小学館の「楽しく遊ぶ学ぶ よのなかの図鑑」です。

160ページの様式6-2の弱視学級につきましては、検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書とさせていただきます。

次に161ページの様式7-1について、教科用図書の各学年の使用の目安は、昔の暮らしや歴史学習及び社会全般の内容になっているものに関しては、社会科がスタートする3年から6年までです。まち探検については3年で、産業ごとについて、4年並びに5年生となっております。

164ページからの様式7-2についても同じようになっております。

それでは、選定しましたそれぞれの本につきまして、説明させていただきます。

まず、「ふるさと60年 戦後の日本とわたしたちの歩み」福音館書店でございますが、まず、戦後から現代まで、街の様子が5～10年ごとに見開き1ページで描かれていること。それから見開きいっぱい風景、人の動きや服装、道具などが丁寧に繊細なタッチで描かれていることから採用しております。

2冊目。「名人はっけん まちたんけん3くらしをささえるひと」学研から出しております。

身近な暮らしを支えて働く人について関係した内容が配置されていること。暮らしを支える施設・人が扱われており、仕事場・職業・仕事道具・一日の流れに分けて説明されていてその特徴を捉えやすい。また必要に応じて注目すべきところをクローズアップしてあるので、その特徴に気づきやすい構成になっております。

同じシリーズで、まもるひと、そだてる・とるひとにおきましても同じような観点から採用させていただきます。

5冊目、「楽しく遊ぶ学ぶ よのなかの図鑑」小学館につきましては、社会生活の中にある仕事や設備、社会の仕組みなどが種類多く配置されておまして、生活の中で身近にある働く人・もの・しくみが描かれ、子どもたちが興味を持って生活経験と照らし合わせながら学習できるような構成ができております。またこれも見開き1ページに内容がまとめられており、写真やイラストをたくさん使っているので、子どもたちが興味を持ちやすく、また理解の一助となっております。

以上、令和3年度使用、小学校特別支援学級教科用図書採択の報告とさせていただきます。

教育長

では、特別支援学級の調査結果について質疑を受けたいと思います。ご質問等はございませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、採決に入っていきたいと思います。特別支援学級の小学校でございます。調査委員会から提案いただきましたのは、知的障がい学級の社会科について、例えば様式6-1等にあるように、網かけされているこの一般図書を新しく選定教科書に加えるというのが提案でございますし、弱視学級につきましては、検定教科書を拡大した拡大教科書を使うというのが提案でございます。調査委員会の提案のとおり、第二採択地区として小学校の特別支援学級の教科書を提案どおり採択するというところでよろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

## 教育長

では、小学校特別支援学級については、報告のとおりとさせていただきます。続きまして、特別支援学級の中学校の調査結果について、報告をお願いいたします。

## 事務局

特別支援学級の教科用図書の採択について、知的障害学級の一般図書において供給不能となったものを補充することを中心に行いました。

資料171ページの使用教科用図書調査研究観点（様式5-1）について協議をし、その後、教科用図書について検討を進めてまいりました。資料につきましては、168ページからになります。

令和3年度使用教科用図書を選定するに際して、理科の一般図書から選定されていた4冊のうち、フレーベル館の「フレーベル館の図鑑ナチュラ ふしぎをためす図鑑（4）いきもののしいく」と「フレーベル館の図鑑ナチュラ ふしぎをためす図鑑（2）しぜんあそび」の2冊、保健体育の一般図書から選定されていた2冊のうち、朝日学生新聞社の「小学生のための体育基本レッスン コツをつかんで苦手を克服！」1冊が供給不能となっております。

そこで、供給不能となった一般図書のねらいを鑑み、教科書に値する図書を選定させていただきました。

その結果、理科はフレーベル館「ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび」、こちらにございますこの本になります。次に、講談社「講談社の動く図鑑 MOVE はじめてのずかん みちかないきもの」の2冊を供給不能となった教科用図書に代わるものとして、一般図書より選定しました。

そのほかに、東洋館出版社「くらしに役立つ理科」も一般図書から選定しております。

理科の教科用図書として、一般図書から供給不能となった図書は2冊でしたが、今回は教科用図書として3冊を選定させていただきました。

保健体育の教科用図書としては、一般図書から学研教育みらい「DVD完全ビジュアル すべての子どもが必ずできる 体育の基本」を教科用図書として選定しております。

選定しました教科用図書について、それぞれの選定理由を説明させていただきます。

理科の使用教科用図書調査研究観点は、報告書様式5-1に記載してあります。

「ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび」、この図書は、これまで一般図書として使われていた「フレーベル館の図鑑ナチュラ ふしぎをためす図鑑 しぜんあそび」に代わるものです。内容構成はほぼ変わらず、身近なものを使って、体験的な活動ができる内容となっています。

次に、「講談社の動く図鑑 MOVE はじめてのずかん みちかないきもの」。この図書は、これまで一般図書として使われていた「フレーベル館の図鑑ナチュラ ふしぎをためす図鑑 いきもののしいく」に代わるものです。飼育に関する内容は含まれていませんが、動物に興味・関心を引くための様々な工夫がされており、特に付属のDVDは大変効果的です。

次に、「くらしに役立つ 理科」。この図書は、自立を目指し、実生活に即した内容となっております。

り、学習内容をより深めることができます。知的障害学級生徒の障がいの内容や程度は多様であり、知的支援学級の中でも境界域にある生徒にとって、語彙数や文章量が多く、チャレンジできるものとなっています。

最後に、保健体育です。保健体育の使用教科用図書調査研究観点は、同じく報告書様式5-1に記載してある4点となっております。

DVD&完全ビジュアル「すべての子どもが必ずできる 体育の基本」。この図書は、これまで一般図書として使われていた「小学生のための体育基本レッスン コツをつかんで苦手を克服」に代わるものです。

多くの領域において特別支援学級、とりわけ知的障害学級の生徒たちに親しみやすく、基本的な運動技能を身につけたいときに参考にしやすいものとなっております。

DVD&完全ビジュアル版のDVDを活用することで、生徒の理解も深まります。

また、生徒のみならず、指導する立場からも参考になることが多く、指導者や保護者にも活用してもらえ工夫がなされております。

教育長

特別支援学級中学校であります。小学校で申し上げましたように、供給不能本というのが出てきまして、それで理科と保健体育、これを代えていただいたということでございます。推薦をされる一般図書については、資料6-1等で網かけがしてある理科の3冊、保健体育1冊でございます。何かご質問等ございましたらお願いします。

教育委員

異議なし

教育長

よろしいですか。はい。それでは、特別支援学級中学校の採択を行います。知的障がい学級の教科書でございます。理科については、供給不能本がありましたので、網かけしてあるフレーベル館、講談社、東洋館出版社の3冊、それから保健体育の学研教育みらいの1冊に差し替えるということです。これが提案でございます。それから弱視学級については、検定教科書と同一本を拡大した教科書を使うということが調査委員長さんからの報告でございます。

事務局の報告のとおり、理科の3冊、保健体育の1冊を採用するという決定でよろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、議案第7号 「令和3年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて」

お諮りします。

議案書をご覧ください。令和3年度使用教科用図書選定について（案）、令和3年度使用教科用図書選定について、次のとおり議決を求めるものでございます。

議案書の1ページ、2ページが小学校の通常学級用です。小学校は本年度が採択替えの年ではありませんので、今年度と同じ教科用図書を使用することになります。3ページから5ページが小学校の特別支援学級用となっています。6ページが選定いただいた中学校の通常学級で使用する教科書の一覧でございます。7ページはその選定理由となっておりますが、これは各調査委員会からの報告書の記述から抜粋したものとなっております。続いて、8ページ、9ページが中学校特別支援学級の知的障害学級用、10ページが中学校の弱視学級用となっています。同じく資料編6ページから16ページが小学校および中学校特別支援学級の学年別の目安となっております。

以上、令和3年度に使用します教科用図書として提案いたします。

小学校については昨年度、通常学級、知的障害、特別支援学級、昨年度採択したのを引き続き使用する、それから令和2年7月30日（木）および8月4日（火）、8月12日（水）に開催されました、教科用図書第二採択地区協議会における選定結果に基づき、令和3年度の栗東市立各小中学校使用教科用図書を採択することに異議ございませんか。

教育委員

異議なし

教育長

それでは、異議なしと認め、ただいま事務局より説明がありましたとおり選定させていただきます。議案第7号 令和3年度使用教科用図書の採択について承認されました。

教育長

本日予定しておりました日程はすべて終了しました。

これを持ちまして、8月度教育委員会臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会宣言 12 : 30